

## 8・17上越市

### 支援金説明会開催

上越市では春に実施した、市内に事業所を有する中小企業、個人事業主、公益法人を対象とした「事業者経営支援金」に次ぐ、「第2次事業者経営支援金」の申請受付が8月2日より始まりました。

それに伴い上越民商では8月17日に説明会を開催し、9名が参加しました。参加者のほとんどが第1次の申請を受けた方でしたので、大体の申請の



仕方は理解できたようでした。

第1次の給付を受けた場合、一部書類を省略できるのですが、市の説明文では対象月が4月～7月なのに、各月の売上が確認できる書類の添付が2月～7月となっており、何だかおかしいと思い急ぎよ市に確認の電話を入れました。そうすると、第1次の時に提出した売上台帳の続きから、7月末までの資料が必要なのではとの回答でした。もし自分が第1次の申請をいつ申請して、いつまでの売上台帳を提出したのか分からなくなってしまった場合は、今年の2月～7月の売上台帳を提出すれば確実だからです。

当日の参加者は説明を受けると、申請資料を手にして「早速帰って自分が対象になるか計算してみます」と足早に帰る人や、大体の自分の売上が分かり自分が該当すると思える人は、8月23日の支援金相談会の予約を入れてから帰りました。中には、あらかじめ売上台帳や通帳などを持参してきてその場で申請書類を作成し、「このまま帰りに郵便局に寄って出していくわ」と手慣れた方もいました。

なお、**8月30日にも午後1時半～**申請相談会を民商で予定しています。給付金額は減少率や事業所の売上規模により異なりますが、2年前の売上が同月比2か月連続で**25%以上減少**していれば該当しますので、ぜひ該当する方はこの制度を利用して商売を続けていきましょう。

### 月次支援金7・8月分相談会

#### 《予約制》

■9月8日 午後1時半～ 民商

■9月10日 " "

申請期間は7月分…9/30まで

8月分…10/31 までとなっています。該当する方は早めに予約を取って下さい。

## 全商連創立70周年記念集会・式典に向けて民商の拡大強化の大運動に取り組もう！

全国の民商では、民商の全国組織である「全商連」の70周年記念集会・式典が11月にあるのを目指して、商工新聞読者を中心に、会員・共済会員・婦人部員・青年部員の仲間増やしを実施中です。

コロナ禍で喘ぐ小規模事業者から、現状の1千万という免税点を取っ払い、消費税を徴収しようという企て（イン

**ボイス制度**）が着々と進行しています。民商ではいち早くインボイス制度の悪事を会員に知らせ、反対運動の先頭に立つてきましたが、大手マスコミはこのインボイス制度についてほとんど触れませんから、一般の事業者はインボイス制度と言っても何のことやらさっぱり分かりません。



税務当局はそれをよそに、この制度の登録申請の受付を今年10月から始めようとしています。2年後の2023年10月から制度が実施されます。

経過措置があるとはいえ、商取引からの排除や、消費税の申告・納税で数十万円の新たな出費が予想されます。免税業者・課税業者にかかわらず“百害あって一利なし”のこの制度を廃止させるためにも、民商が大きくなって悪だくみを阻止しなければ、多くの小規模業者は商いを続けていけません。過去の闘いの中でも民商が大きくなつてこそ阻止してきた事例がいくつもあります。業者の団結、市民と業者、野党との共闘で要求を実現していきましょう。

そのためにも、皆さんから読者拡大・会員紹介にぜひ力を貸していただきたいと思います。



商工新聞の購読は月500円です。

配達料はいただきません。

会員は月会費が5千円程です。

支援金サポート料は無料です。

《裏面に続きます》

## 後期パソコン記帳会 日程決まる

毎月民商3階で実施していますパソコン記帳会の、後期日程が決まりましたのでお知らせします。

■9月16日(木) 午後1時半〜  
午後7時〜

■10月12日(火) 午後1時半〜  
午後7時〜

■11月18日(木) 午後1時半〜  
午後7時〜

いずれも会場は民商3階です。

最近の午後の会の参加者も少なく、皆さん自分で打てるようになったから来られないのだろうと思いますが、夜の会などは来られる方はいない日の方が多いです。まさかパソコンに打ち込まないで、パソコンさえ開かずにそのままってことはないでしょうね。テスト勉強と同じで、その場にならなきゃやらないというのでは困りますよ。

## 今年は選挙の年

皆さんご承知の通り、今年は選挙の年です。オリンピック・パラリンピックのある年ばかりではありません。

国民の多くがコロナ禍で死ぬか生きるかと災害的な状況下において、オリパラを強行するとは何ていう政府でしょう。医療関係が全く関係しない催事ならいざ知らず、オリパラをする選手も危険にさらすし、無観客にしても観客動員する子供たちも教師も危険にさらすし、携わるボランティアの方々も待機・処置する医療従事者の方々も、オリパラに従事せざるを得ません。在宅療養で死んでいく国民を見て、何とも思わないような政治家はいらないです。



国家体制の違いで毛嫌いしている中国でさえ、巨大な簡易病院施設をすぐ作って対応にあたったじゃありません

か。他国より医療の優れていると言っていた日本は、PCR検査体制も他国に劣るし、国民の命も救えない状況に置かれているのは、少なくとも医療従事者の責任じゃないことを国民はよく知っています。1年以上も抜本的な対策をとってこなかった政府に責任はあります。まさしく、菅政権による人災なのです。勤勉でまじめな多くの国民の努力によ



って、感染者数が他国に比べて少なかっただけです。もうこんな船頭に日本の進路を任せるわけにはいきません。市民と野党の共闘によって現政権を倒し、より良い政府、国民の命を一番に考える政府を作っていきましょう。

なお、お知らせですが、我が上越民商の会長の岩澤健が、上越市議補選(10月24日告示10月31日投開票)に共産党公認で出馬することが決まりました。



## 新事務局員紹介

以前から事務局員を募集していましたが、やっと幸運にも入局希望者が現れまして、いよいよ9月1日より、民商で働いて貰うことになりました。

名前は、伊井裕美さん

板倉区在住で40代前半の明るく元気な奥さんです。宜しくお願いします。